

東海大学機友会事務局：〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南校舎12号館6階
工学部動力機械工学科事務室内／電話：0463-58-1211 内線4321 / FAX：0463-59-8293

発行日：2018年11月3日／発行人：内山 皓
編集：阿部 徹／印刷：大矢 暁(株)シユウ

第2回 萩三二賞 11月3日 親睦会にて授与式 開催

萩三二賞とは、故萩三二先生(2013年8月他界 享年87才)の偉業功績を後世に伝えたく、昨年萩家のご了承のもと創設を致しました。選考基準は卒業後、社会において学術・教育・文化などの活動を通じて卓越した業績をあげられた、個人又はグループに授与いたします。本年第2回の授賞者は、飯島敏雄氏と Chinda Charoenphonphanich 氏(タイ国)の下記2名です。(五十音順)

<授賞者プロフィール>

飯島 敏雄 先生



- ・1942年4月千葉県生まれ
- ・1968年東海大学大学院機械工学科修士修了
- ・1985年東京大学より工学博士授与
- ・1986年東海大学教授
- ・1988年～1991年国際協力機構によりタイ国 KMITL に派遣専門家として両国の交流に貢献
- ・2001年～2006年動力機械工学科主任教授就任
- ・2014年3月タイ国モンクット王ラカバン工科大学(KMITL)から名誉博士(工学)の称号授与
- ・研究分野：機械工学 / 流体工学

チンダ チャロンポンパーニツヒ 先生

(Chinda Charoenphonphanich)



- ・1969年3月タイ国生まれ
- ・1994年東海大学大学院機械工学科修士修了
- ・2001年東海大学より工学博士授与
- ・2010年～2012年タイ国モンクット王ラカバン工科大学(KMITL)副学長
- ・2015年からタイの機械学会会長として国内および海外で活躍
- ・メタノールなど自動車の代替燃料の研究では100篇以上の論文を発表
- ・研究分野：専門は内燃機関、自動車工学

<故 萩三二先生プロフィール>



萩三二先生は1926年東京生まれ(2013年8月他界、享年87才)。先生は1961年(昭和36年)東京大学より工学博士の学位を授与されました。東海大学には創設者松前重義先生をお慕いして、1959年から奉職され、1998年3月の定年退職まで、39年の長きに亘り学園の発展に大きな貢献を致しました。教育現場はもとより学園発展の為、奉職中に歴任された要職は、東海大学理事・評議員、工学部学部長、第二工学部学部長、大学院工学研究科委員長、副学長、短期大学部学長、九州東海大学学長、等々、学園の基礎を築かれた功績は多大です。特筆すべきは、これらの成果に対して、2001年(平成13年)11月に天皇陛下より「勲三等旭日中勲章」の叙勲を受けられました。

第1回授賞者は河西正彦氏、藤田征樹氏、康井義明氏の3名に授与致しました。藤田征樹氏は2020年東京パラリンピック自転車競技で金メダルを目指し奮闘中です。(2008年北京、2012年ロンドン、2016年里オ各パラリンピック自転車競技に出場して銀3個、銅2個、合計5個のメダリストです)



第一回 萩三二賞授与式・第41回親睦会 2017年11月

第6回 講演会 8月4日 開催報告



林 義正先生(元東海大学教授)を講師にお迎えして、東海大学校友会館(霞が関ビル35階)にて15時から開催いたしました。演題は「人生は夢、挑戦、感動の連続だ！(ル・マンにチャレンジした先輩たち)ご講演後に機友会より、林 義正先生の前までの功績を称えて「機友会特別賞」を授与いたしました。先生は、1994年4月に日産自動車から東海大学工学部教授に就任、2012年3月退任までの18年間お世話になりました。特に



2000年「東海大学 ル・マンプロジェクト」をスタートされ、2008年世界初の学生主体チームで、フランス国で「ル・マン 24時間耐久レース」に参戦したが、18時間の走行をみながら駆動部トラブルにて無念のリタイヤをする。その後も3年連続でアジアン・ル・マンに参戦し、いずれも完走をされております。先生は2011年ル・マンAOC(大会主催者)から「スプリット オブ ル・マン賞」を授賞しております。(日本人で2人目)2018年6月に山形県のエンジンメーカーYGKと共同開発による災害停電の際、プロパンガスを燃料とする小型エンジン非常用発電機を開発され、特許取得後に新聞発表にて注目されております。モータースポーツで培った低燃費、高出力、コンパクトの技術の小型エンジンを民需に活用されております。

第16回 全日本学生フォーミュラ大会 参戦報告



Tokai Formula Clubは、今年9月4日～8日静岡県掛川市で開催された全日本学生フォーミュラ大会に参戦いたしました。今年度は総合10位獲得を目標に大会に臨みました。チームが苦手としていた静的審査でも良い結果を残すことができ、総合で8位(8/103チーム)、ガソリン車部門で7位と2014年以來の好成績を残すことができました。また海外8か国参加の内、昨年同様オーストラリアチームのホストを行ったことで、異文化交流も行うことが出来、とても良い経験となりました。これも日頃から機友会および卒業生の皆様からのご支援・ご声援を頂いたおかげです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。更に好成績を獲得できるよう、来年の大会に向けて新チームがすでに動き出しております。



ホームページやフェイスブックにて活動の軌跡をお伝えしておりますので、チェックいただければ幸いです。

TFC: <http://formula.shn.u-tokai.ac.jp/> 東海大学チャレンジセンター東海フォーミュラクラブ(月村)

東海大学機友会の活動は、会員のみならずからお納めいただいた貴重な会費によって賄われていますので、その会費納入にご協力ください。会費額は、第13回総会において、10年分：10,000円 / 5年分：6,000円 / 3年分：4,000円に改訂されました。払込みは、以下の郵便振替口座をご活用ください。払込みに際して、住所・氏名のほかに、卒業年度と何年分会費かをご明記ください。ご寄付の払込みもこの口座をご利用ください。

郵便振替口座番号：00200-7-15017 / 加入者名：東海大学機友会

または 横浜銀行 東海大学駅前支店 (663) 普通 0411170 東海大学機友会